

肌

おん ほん

はだ

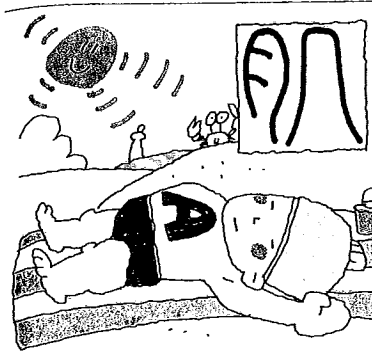
はわる

6画
月 月 肌

なりたち

肉体の意味の月(にくづき)と几(こ)との形声字。

凡の音は幾に通じ、細やか(微細)の意味。「細やかなはだ」という意味の字。「はだ・皮膚」として、「気性」の意味に用いられる。



いみじゆく

▼はだ。皮膚。

肌身：はだ。からだ。用例 肌身離さず持つているお守り

素肌：化粧や衣服をつけていないままの肌。

肌着：肌に直接着るもの。下着。

肌触り：肌に触った時の感じ。用例 肌触りの良い服。

肌合い：気性。氣質。用例 肌合いが悪い。(その人と気性が合わない。)

学者肌：学者らしい氣質。

名人肌：名人氣質。

物の表面。

山肌：山の表面。

よみかた 肌色・地肌



筋

おん きん

すじ

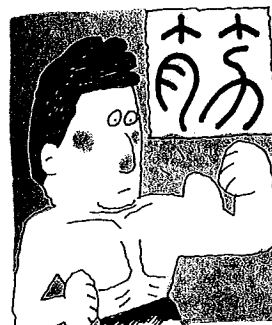
はわる

6画
筋 筋 筋

なりたち

本字は筋(筋)。月(にくづき)と力との会意形声字

で、力を出す「ひきしまつた肉(筋肉)、すじ肉」を表した字。故に筋はキンとも発音される。筋が、「むね・肋骨(きんごう)」の意味に用いられたため、竹を加えて「すじ肉」専用字とした。



いみじゆく

▼すじ肉。骨についていて、収縮する力のある肉。

筋肉：運動に必要な収縮力を持ったすじのある肉。

筋骨：筋肉と骨格。体格。用例 筋骨隆々(たくましい体の形容)。

▼物の中に入っていて、力を強める、すじ状のもの。

鉄筋：コンクリート建築の中に入れる鉄棒。また、「鉄筋コンクリート建築」のこと。

▼すじ。細長く一つづきになっているもの。

血筋：親から子、子から孫とつづく血統。

荒筋：話の大体のすじみち。「粗筋」とも書く。

素質。用例 筋が良い。

道理。用例 筋の通った話。

よみかた 筋書・筋金・筋違

い・筋道・腹筋・本筋・道筋

骨

おん コツ

ほね

はわる

10画
骨 骨 骨

なりたち

骨の関節の形を表した骨と、肉の意味の月(にくづき)との会意形声字。

肉の付いた骨を表した字。「ほね」。それは「体の中心」である所から「骨」中心「また、人柄」の意味に用いられる。



いみじゆく

▼死んだ人の骨。お骨。

遺骨：火葬にした後に残った骨。また、戦死者などの、その土地に残った骨。

納骨：火葬にした骨を納めること。用例 納骨堂

▼からだ。

老骨：年老いた体。用例 老骨に鞭(むち)打って働く。

▼物事の要(めい)。中心。

骨子：要点。用例 提案の骨子を説明する。

▼人柄。氣立て。氣質。

反骨：権威や通念に反抗する氣持ち。

よみかた 骨抜き・氣骨

骨抜き

氣骨

髓

おん ズイ

ずい

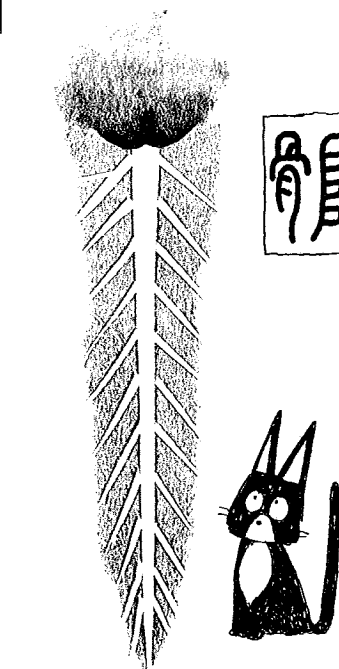
はわる

19画
骨 骨 骨

なりたち

髓(ずい)の意味の道(みち)と、骨との会意形声字。

旧字体は髓。骨に付随した物という意味の字で、骨の中に包まれているやわらかな組織のことを表した字。「ずい」という。



いみじゆく

▼すじ肉。骨についていて、収縮する力のある肉。

筋肉：運動に必要な収縮力を持ったすじのある肉。

筋骨：筋肉と骨格。体格。用例 筋骨隆々(たくましい体の形容)。

▼物の中に入っていて、力を強める、すじ状のもの。

鉄筋：コンクリート建築の中に入れる鉄棒。また、「鉄筋コンクリート建築」のこと。

▼すじ。細長く一つづきになっているもの。

血筋：親から子、子から孫とつづく血統。

荒筋：話の大体のすじみち。「粗筋」とも書く。

素質。用例 筋が良い。

道理。用例 筋の通った話。

よみかた 筋書・筋金・筋違

い・筋道・腹筋・本筋・道筋